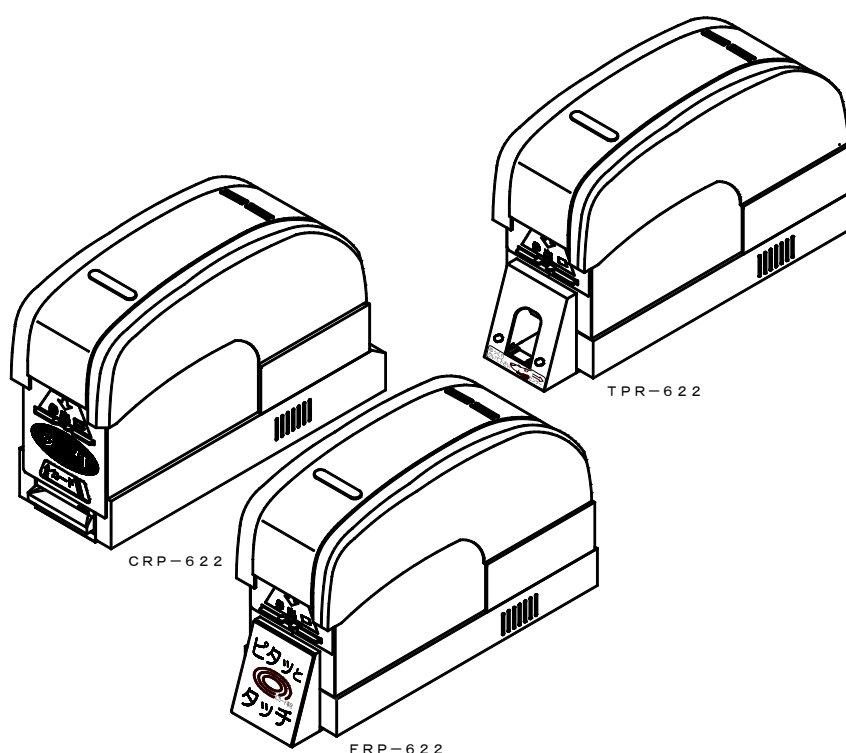
リーダー付プリンタ

ＭＯＤＥＬ
ＣＲＰ／ＦＲＰ／ＴＲＰ
－６２２

操 作 説 明 書

このたびは、リーダー付プリンタをお買い上げいただき まことにありがとう
ございました。正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、
末永くご愛用くださるようお願い申し上げます。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。

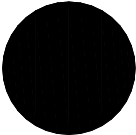
ナダ電子株式会社

技２Ｓ－０９０４１５

安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
又､お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。

この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

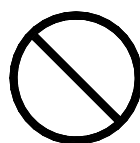
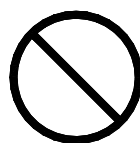
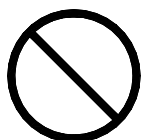
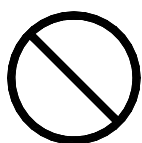
注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「**警告**」､「**注意**」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
その表示と意味は次の様になっています。
内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

☆ 危害・損害の程度とその表示

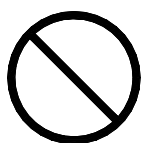
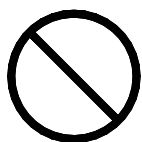
警告	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと､人が死亡 又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

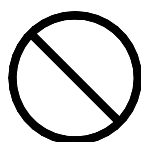
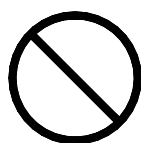
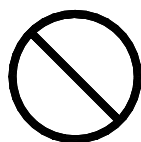
<table>
<tr>
<td></td>
<td>この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。
（例）
：一般的な注意事項　：感電注意</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。
（例）
：分解禁止　：接触禁止</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。
（例）
：一般的な行為の指示　：電源プラグ抜け</td>
</tr>
</table>

警告

	電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。 ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。 （プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。）
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。 電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。 火災・感電の恐れがあります。 （交流１００Ｖ ５０／６０Ｈｚの商用電源コンセントに接続して下さい。）
	必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。 アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。
	取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。 万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。

警告

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

本機を分解・改造しないで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。

本機のキャビネットを外さないで下さい。
内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。

湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。

本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

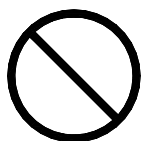
警告

本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。

本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。
落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

警告

オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

感電の恐れがあります。

オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。

注意

本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。
又、接続ケーブルなども外して下さい。
作業は足元に十分注意して行って下さい。

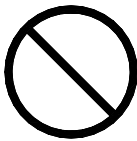
コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

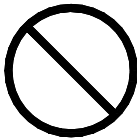
電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

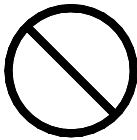
電源コードを引っ張りますと　コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

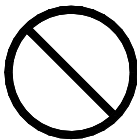
注意

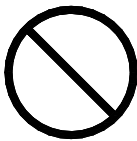
通電したまま　本機をカバー等で被わないで下さい。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。

高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

本機の上に重い物を置かないで下さい。

置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

調理台や加湿器のそば等　油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。

この機器の通風孔をふさがないで下さい。

通風孔をふさぐと　内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず１０cm 以上離して下さい。

結露状態のまま使用しないで下さい。
火災・感電の原因となることがあります。

室温の低い所から暖かい場所に移動した場合　又　室内の温度を急に上げた場合は、ご使用の前に３０分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。

注意

	電源コードを熱器具に近づけないで下さい。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。
	カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。 けがの原因となることがあります。
	記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。 けがの原因となることがあります。
	プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。 けが・火傷の原因となることがあります。
	連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
	落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災の原因になることがあります。
	重量のある機器を移動する場合は、必ず２人以上で運んで下さい。 腰や手を痛める恐れがあります。

＊＊＊ 目 次 ＊＊＊

□ 使用上の注意

○ 設置について

・本機は振動が生じない様な場所で ご使用ください。

・高温・多湿 又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。

・揮発性有機溶剤・アンモニア・油等の液体贋霧環境 又は 石や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。

・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界,腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。

・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）とは離してご使用ください。

○感熱紙の取り扱いについて

・使用、保存状態により発色(色が出る)、変色(色が変化)、退色(色あせる)する場合があります。

1 使用上の注意点

①爪、金属物で感熱紙表面を強くこすらない。
発色の原因となります。

②糊を使用する場合は水生糊を使用する。
溶剤系・ゴム系の糊、ステック糊は発色の原因となります。

③溶剤を含んだ筆記用具(油性サインペン、蛍光ペン)を使用しない。
変色の原因となります。

④濡れた手で触らない。
指紋がついたり、印字が不鮮明になる原因となります。

2 保存上の注意点

①直射日光、高温多湿の場所を避けて保管のこと。
変色、退色の原因となります。

②印字済み感熱紙を青焼きコピー(ジアゾ方式)と密着させない。
退色の原因となります。

③印字済み感熱紙をプラスティック製消しゴムに接触させない。
長時間の接触は退色の原因となります。

④印字済み感熱紙を軟質塩化ビニール製のファイルで保管しない。
退色の原因となります。

⑤長期保存が必要な場合はコピーしてください。
感熱紙の特性上長期保存はできません。

○ 記録紙切れ

・記録紙切れになった時は、ＦＥＥＤスイッチのランプが約１秒周期で点滅します。

○ メカについて

・メカ部の主な板金部（プレス部）は メッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。

○ 印字ヘッドについて

・記録紙をプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。
空印字しますと 印字ヘッドやプラテンが傷みます。

・印字中、印字ヘッドに触れたり，無理な力を加えたりしないでください。

・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。

○ 衝撃について

・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり 物を当てたりして衝撃を与えないでください。

○ 水や異物について

・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。

・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源を切り 電源コードを抜いてください。

○ 汚れについて

・本機の外装部ケース等の汚れは、柔らかい布に水 又は 中性洗剤を少し含ませて軽く拭き取ってください。

・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと 筐体ケースの変色などの原因となります。

○ その他の注意

・本書の内容の一部 又は 全部を無断転載することはお断りします。

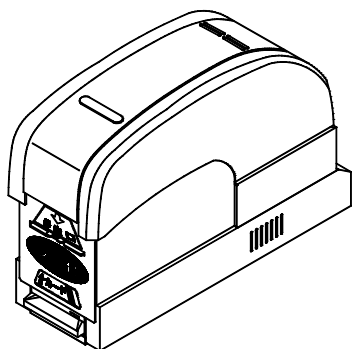
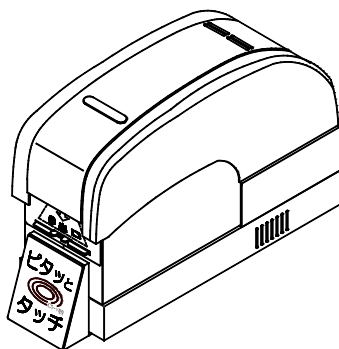
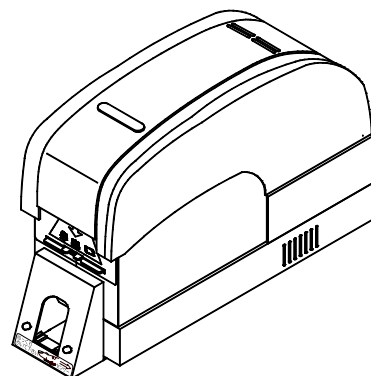
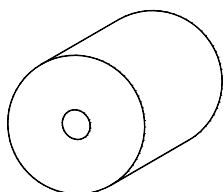
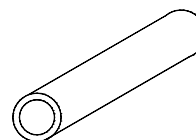
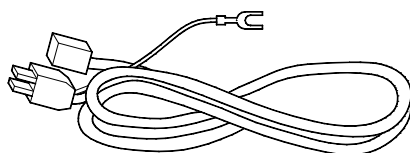
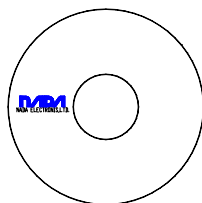
・本書の内容に関しては 将来予告なしに変更する場合があります。

・本製品がお客様により 本書の内容に従わず不適当に取り扱われたり、また ナダ電子㈱ 及びナダ電子㈱指定の者以外の第三者により 修理･変更されたことなどに起因して生じた損傷等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 付属品の確認

梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

プリンタ本体

ＣＲＰ－６２２

ＦＲＰ－６２２

ＴＲＰ－６２２

記録紙（ＮＰ－６０４）

ロールシャフト（Ｓ－３０）

プラグ付電源コード（２ｍ）

取扱説明書／操作説明書（ＣＤ－ＲＯＭ）

Ｔｏｏｌｋｉｔ（ＣＤ－ＲＯＭ）
（ＴＲＰ－６２２のみに付属）

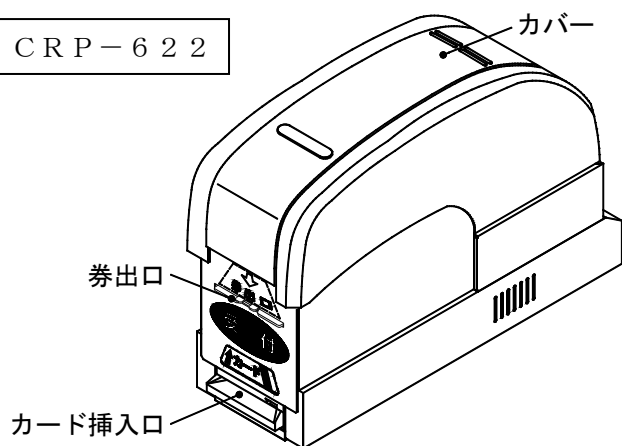
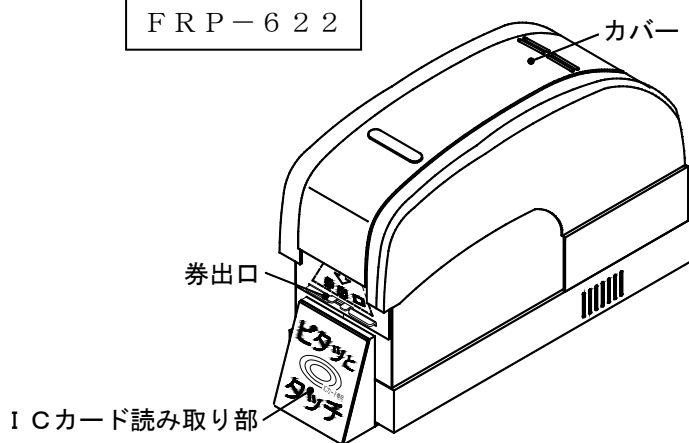
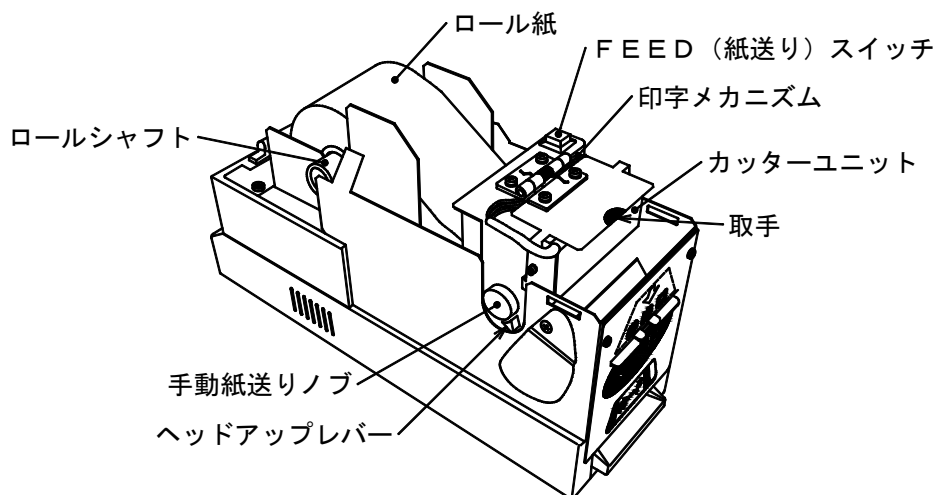
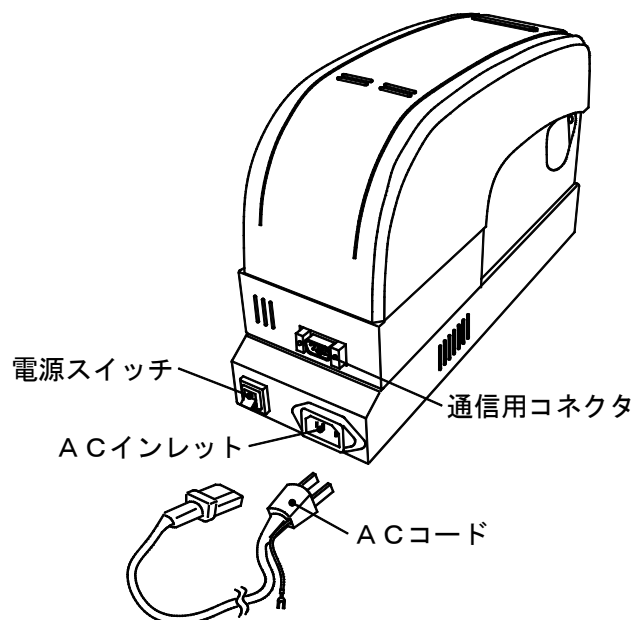
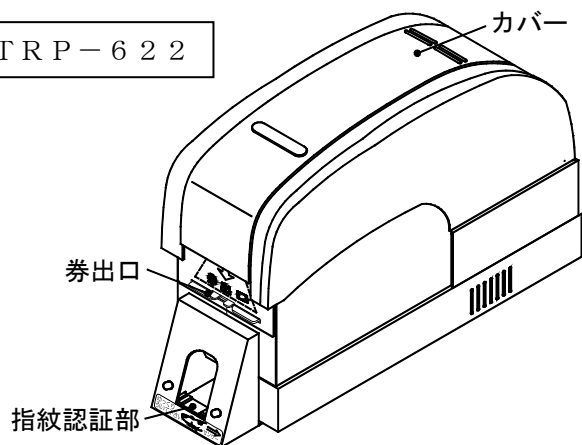
□ 各部の名称

ＣＲＰ－６２２
カバー
券出口
受付
カード
カード挿入口

ＦＲＰ－６２２
カバー
券出口
ピタッと
タッチ
ＩＣカード読み取り部

ＴＲＰ－６２２
カバー
券出口
指紋認証部

電源スイッチ
通信用コネクタ
ＡＣインレット
ＡＣコード

ロール紙
ＦＥＥＤ（紙送り）スイッチ
印字メカニズム
ロールシャフト
カッターユニット
取手
手動紙送りノブ
ヘッドアップレバー

□ 警告ブザーについて

条件	警告周期	断続／連続	解除
カードの取り忘れ （ＣＲＰ－６２２のみ）	５秒毎	０．２秒間隔 ４回の断続音	取り去ってください
券の取り忘れ	１回のみ	０．２秒間隔 ４回の断続音	取り去ってください
プリンタの準備が未完	５秒毎	１秒間隔 ２回の断続音	□ＦＥＥＤスイッチ部のランプについて参照
リーダーエラー ＣＲＰ－６２２	１回のみ	０．５秒の 連続音１回	自動復旧しますが何度も発生する場合は修理が必要
リーダーエラー ＦＲＰ－６２２			
リーダーエラー ＴＲＰ－６２２			特定の指紋が読み取れない場合は再登録を行ってください 全ての指紋が読み取れない場合は修理が必要です

警告周期５秒毎は警告音終了後５秒後に再度警告音を出力することを意味します。

□ ＦＥＥＤスイッチ部のランプについて

ＦＥＥＤスイッチ部に内蔵されているランプ（ＬＥＤ）は、次の条件時に点滅します。

条件	点滅周期	解除
ﾍﾟｰﾊﾟｰｴﾝﾄﾞ 記録紙が無い	１ 秒	記録紙の補充
ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟ 印字ﾍｯﾄﾞが記録紙と密着していない	１ 秒	ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾚﾊﾞｰを操作して ﾍｯﾄﾞを下げる
ｻｰﾐｽﾀの故障 印字ﾍｯﾄﾞに内蔵されている 温度監視用ｻｰﾐｽﾀの故障	０．１ 秒	印字ﾍｯﾄﾞの交換 又は 印字ﾒｶﾆｽﾞﾑの交換
ｶｯﾀｰﾕﾆｯﾄの故障 紙づまりやﾓｰﾀ故障による ｶｯﾄ動作不良	０．１ 秒	ｶｯﾀｰﾕﾆｯﾄの交換

□ テスト印字について

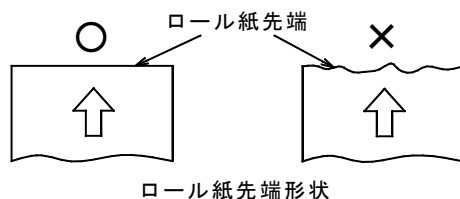
ＦＥＥＤスイッチを押しながら 電源を投入すると、キャラクタセット内のデータをアドレス順に印字（セルフテスト）します。

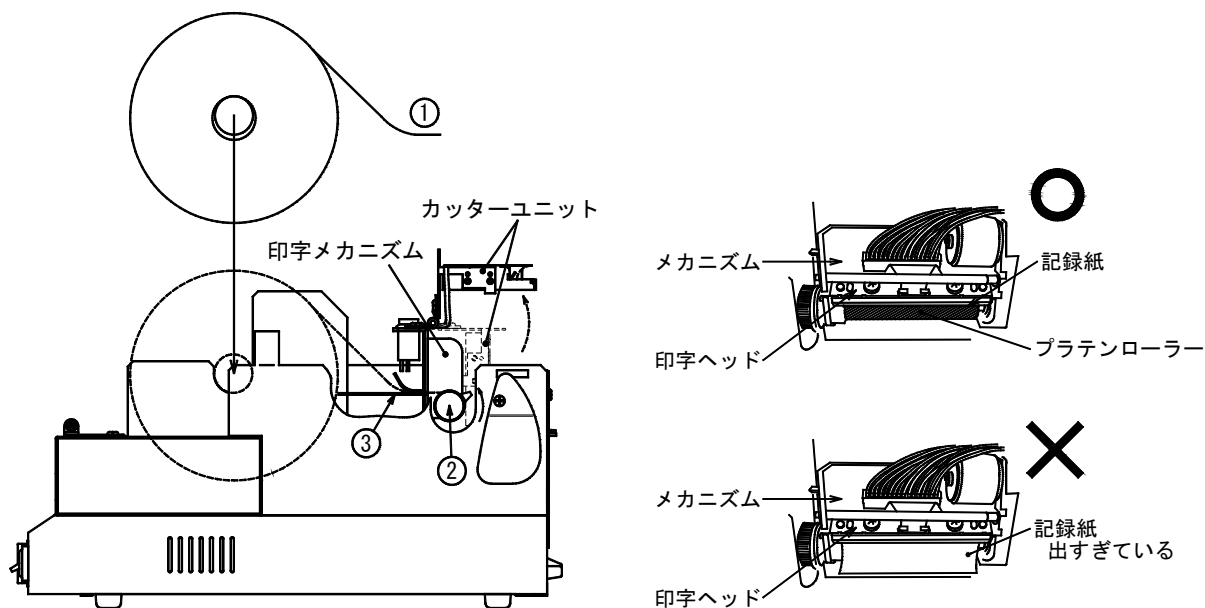
押し続けている間はセルフテストを行い､押すのを止めるとその時 印字している行を印字し終えてから、データ受付状態になります。

テスト印字はペーパーエンド時は行いません。

□ 記録紙（ロール紙）のセット方法

1．記録紙の先端は下図に従って、真っ直ぐにカットしてください。

先端を２つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。

2．ヘッドアップレバーを上げます。（矢印②）

3．記録紙をペーパーガイドに沿って メカニズムの後方から挿入します。（矢印③）

4．記録紙は自動的に送られカッターユニットから出てきます。

5．ヘッドアップレバーを下げ、ＦＥＥＤスイッチを操作して紙送りに異常がないかを確認します。

6．カッターユニットから出てこない場合はカッターユニットを上方へ回転させてください。

記録紙の先端を印字ヘッドの先端まで送り ヘッドアップレバーを下げて、カッターユニットを元の位置に戻します。ＦＥＥＤスイッチを操作すると記録紙はカッターユニットを通ります。

記録紙の先端がヘッドから５ｍｍ以上出た状態では カッターユニットを元の位置に戻しても記録紙はカッターユニットを通りません（図参照）。記録紙の先端がヘッドの先端から長く出てしまった場合及び記録紙の先端が曲がっている場合は、ＦＥＥＤスイッチを押して 記録紙を１０ｃｍ程度送り出します。記録紙の先端をカッターユニットのペーパー挿入口に通してから カッターユニットを元の位置に戻し ＦＥＥＤスイッチを操作して記録紙をカットしてください。

記録紙は、純正品を使用してください。

純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

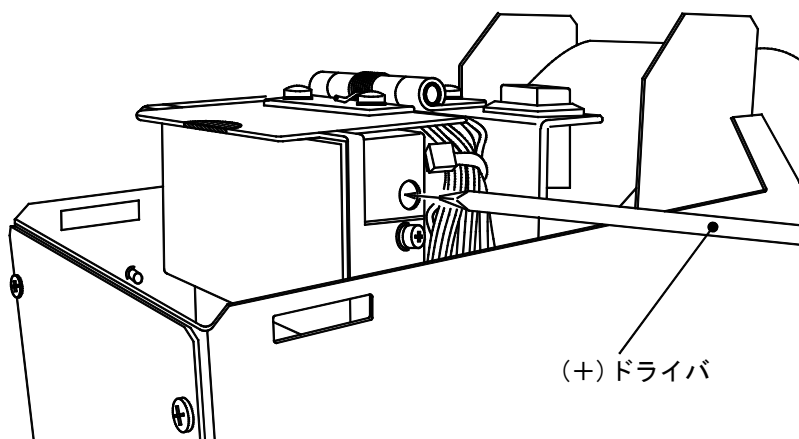
□ 印字中のペーパーエンドについて

印字中にペーパーエンドになった場合は、新しい記録紙をセットしてください。
セット後には必ずＦＥＥＤスイッチを操作してください。
プリンタはこのＦＥＥＤスイッチの操作により 記録紙のセットが完了したものと判断し､記録紙の確認後に印字を開始します。
ＦＥＥＤスイッチを操作しなかった場合、１０秒後に記録紙の確認を行い、記録紙有りと認識した場合は、記録紙のセットが完了したものとみなします。

注意：記録紙の終端を示す赤いエンドマークが出てきた場合、新しい記録紙と交換してください。
発券中にペーパーエンドになった場合、発券内容が分割されることになります。
システム運用上、再発券を可能とする考慮をお願いします。

□ 紙づまり時の対応

電源を切り 紙づまりの原因を除去して、電源を再投入してください。
カッター刃はカッターユニットの側面の穴より（＋）ドライバを使用して移動させる事が出来ます。
たびたび紙づまりを生じる場合、修理が必要です。

注意：発券中に紙づまりが発生すると紙づまりのため正常な印字でない場合があります。
システム運用上、再発券を可能とする考慮をお願いします。

□ カードづまり時の対応（ＣＲＰ）

通常電源の再投入で排出されます。

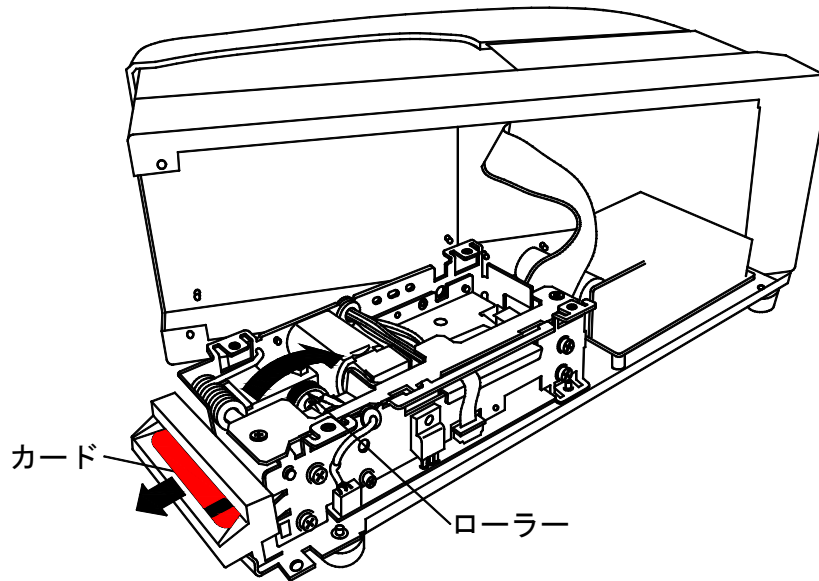
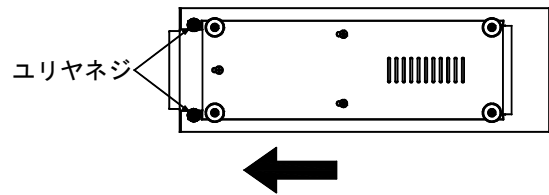
排出されない場合は電源を切り（プラグも

抜いてください）底面のユリヤネジを外し、

リーダー部を前方に引き出しながら本体から外します。

ローラーを手で回転させるとカードが取り出せます。

取り出し後は逆の手順で元に戻します。

たびたび排出されない場合は修理が必要です。

□ カードを読まない

１．ＣＲＰ－６２２

磁気カードを使用しています。カードを強力な磁気の近くで保管するとデータが消滅します。保管場所に注意し、磁気面を汚さないよう方向を確認して使用してください。

２．ＦＲＰ－６２２

使用可能な方式はフェリカと呼ばれるカードのみです。

カードの２度読み防止のためリーダー側では２秒のタイマーを設けています。同一カードを再度読み取らせるには２秒以上の間隔を開けてください。

異なるカードであれば２秒以内でも読み取ります。

電源投入直後２秒間はカードの読み取りは行えません。２秒以上経過後にカードを読み取り部にタッチしてください。

□ 指紋認証について（ＴＲＰ）

1. 指の置き方について

指紋認証モジュールの高い照合精度を維持するために、次の点に留意してください。

（１）指が汚れていたり、汗で濡れている場合はハンカチ等で指先を拭いてから入力してください。

（２）指紋センサー面に対して指を水平に置いてください。斜めに置くと照合精度が低下することがあります。

（３）良い例、悪い例を示します。

入力方法	入力図	判定
指を密着させ まっすぐ手前に引く	指摺動方向 ▼第一関節 読取走行面 センサー	○
指先だけを立てた状態で 手前に引く	指摺動方向 読取走行面 センサー	×
指を逆方向に押し出す	▼第一関節 指摺動方向 センサー	×
センサーに対し指を 斜めに引く	指摺動方向 読取走行面	×

2. 指紋の読み取り手順

（１）読取り動作開始の表示

指紋を読取る準備が出来ると、青色ＬＥＤが点灯（一瞬点滅）します。

（２）指の置き方

第一関節がセンサー部に密着するように指を置きます。

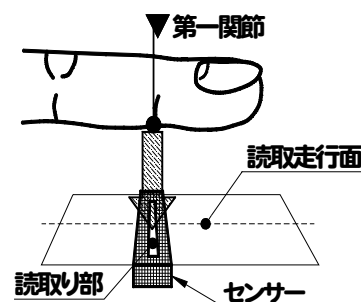
正しく指が置かれると、青色ＬＥＤが消灯し、赤色ＬＥＤが点灯します。

指がセンサー部に密着していない場合、赤色ＬＥＤが点灯しない場合があります。この場合は、第一関節の少し下にセンサー部が密着するように指を置いてください。

（３）指の引き方

センサー部から指が浮かないように、センサー部に密着させながら、ゆっくり（極端に早く引くと読み取れない場合があります。）手前に引きます。

（４）認証確認

指紋の確認が出来た場合はブザー音がします。ブザー音がしない場合は青色ＬＥＤの点灯後再度やり直してください。

3. 指の状態による対処法

指紋センサーは適度な湿気を含んだ指先に最も良く反応するように調整されています。水分によって適度に潤った肌質が鮮明な指紋画像を作り上げます。

（１）指先の状態で、登録や照合がしづらい場合の対処法を示します。

指の状態	対処
指先が汚れている	指をきれいな状態にしてください。
皮膚が乾燥している （角質化も同様）	乾燥肌の方は指先に脂分が少ないため、入力しづらくなります。 ①指先に息を吹きかけて、湿り気を与えます。 ②直前に手もみをし、指先に汗をすりこませます。 ③指紋センサーに強い力で指をあてます。 ④ＮＧ判断になっても、ハンカチ等で指先の汗を拭かないでください。 ⑤ハンドクリームなどで皮膚にうるおいを与えてください。
指先が濡れている	雨や水滴が付着した場合、乾いた布で水気を拭き取ってください。 多汗性の方は指先に汗の量が多すぎて、指紋全体が潰れた状態になってＮＧが出やすくなっています。 ①指紋センサーに指を置く前に、ハンカチなどで汗を拭き取ってください。 ②指紋センサーにあまり強く指を押しつけないでください。
ケガをしている	治るまで別の指を登録してください。 皮膚自体に起因する場合、回復できるまでの間、パスワード照合を併用するのも有効です。
指先の皮がむけている	
皮膚病になっている	
指が特別細い	子供の指や小指のように、指紋が小さい指は、登録および照合が出来ない場合がありますので、その際は別の指を登録してください

（２）指先の状態が次のような場合は、登録や照合が出来ないことがあります。

指の状態	例
ふやけた指紋	炊事や洗濯等の水仕事をした後、または水泳、入浴後の場合
傷ついた指紋	切り傷、擦り傷等で指紋がかすれている、または不明瞭な場合
しわが多い指紋	紋様が判別できないほどしわが多い場合
凸部がすり減った指紋	洗い物や摩擦等で手（指先）が荒れている場合

□ 印字しない

1. 全般

（１）電源を入れても全く動作しない

①配線（電源関係）の確認。

②電源電圧の確認。

（２）印字動作中にリセットが働く（イニシャル動作を行う）

①電源電圧の確認。

②印字制限があるものがあります。確認してください。

（３）スイッチによる紙送りはするが印字しない

①記録紙の確認（サーマル用紙の裏表）。

②ヘッドアップレバーを確認。

③通信プロトコル、データ転送速度が合っているかを確認。

（４）記録紙の交換後に印字しない

①記録紙の交換後にＦＥＥＤスイッチを操作する事で、交換終了としている製品があります。
ＦＥＥＤスイッチを操作してみてください。

2. 印字内容に関して

（１）文字が抜ける

①ＤＴＲ信号を確認して転送しているかを確認。
また、ＤＴＲを確認するタイミングに誤りがないかを確認。

②ＤＴＲ信号の配線を確認。

（２）文字が化ける（印字内容が転送データと異なる）

①通信プロトコル、データ転送速度が合っているかを確認。

（３）印字が薄い

①電源電圧、電源要領を確認。

②サーマル方式では、記録紙のメーカーにより、印字濃度に差が出る場合があります。

□ メンテナンスの方法

次に示す行為は行ってはならない間違った清掃です。絶対に行わないでください。

・手入れに、シンナー、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学雑巾を使用すること。

・ボールペン等先の尖ったものを清掃用具として使用すること。

1. プリンタ部

（１）サーマルヘッドのクリーニング

用紙カス、異物等によりヘッドやプラテンの寿命を損なう場合があります。定期的に清掃を行ってください。

（２）長期間使用しない場合

長期保存（常温にて半年以上）する場合は、記録紙をはさみ、ヘッドアップ状態にしてください。

又、短期保存の場合でも記録紙は、はさんだ状態にしてください。

ゴムローラとピンチローラ及びヘッドが直接接触した状態が長期に続いた場合にはゴムローラが部分的に変形し、印字ムラが発生する危険性があります。

結露の可能性のある環境では、電食防止のため、通電状態で長時間放置しないでください。

又、記録紙をセットしたまま放置しますと、記録紙の変色、退色、プラテンとの貼り付きが発生する場合があります。このような時は、新しい記録紙に交換してください。

2. リーダー部（ＴＲＰ－６２２）

指紋認証部

指紋センサーの表面には手の脂や汗、ほこり等が付着し、次第に鮮明な指紋が採れにくくなってきます。このような状態で使用すると、照合ＮＧが頻発したり、「汚れ」エラーが多くなり快適な利用はできなくなります。

次の要領で指紋センサーを清掃してください。

（１）人体等に帯電している静電気を除去した後に清掃を行うようにしてください。

（２）やわらかい乾いたきれいな布で軽く汚れを拭き取ってください。

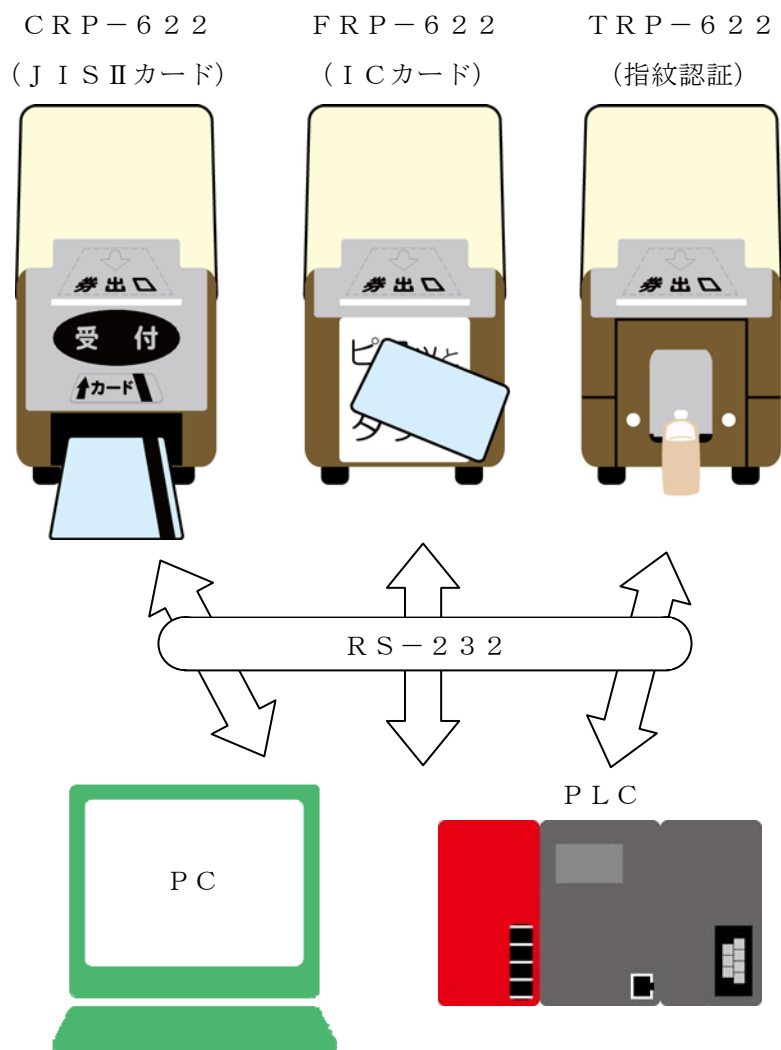
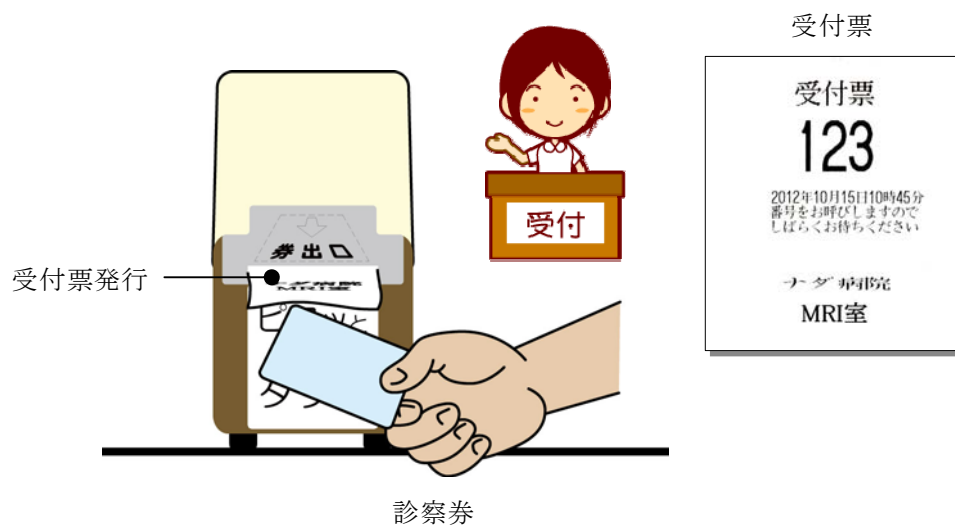
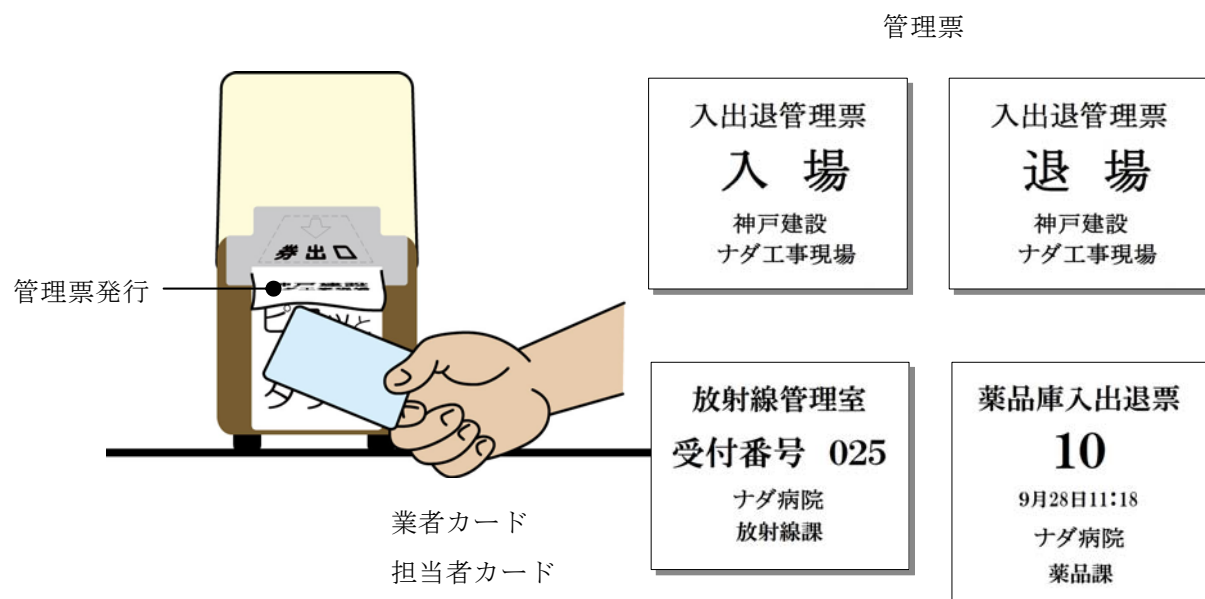
（３）汚れが落ちにくい場合、布を水で湿らせ表面を拭いてください。

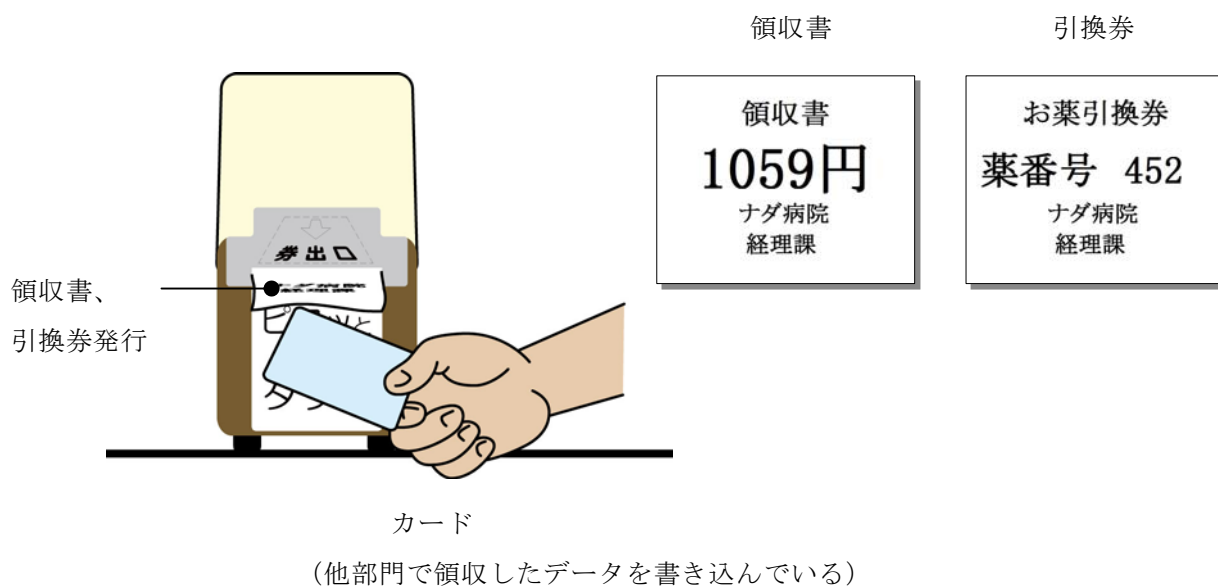
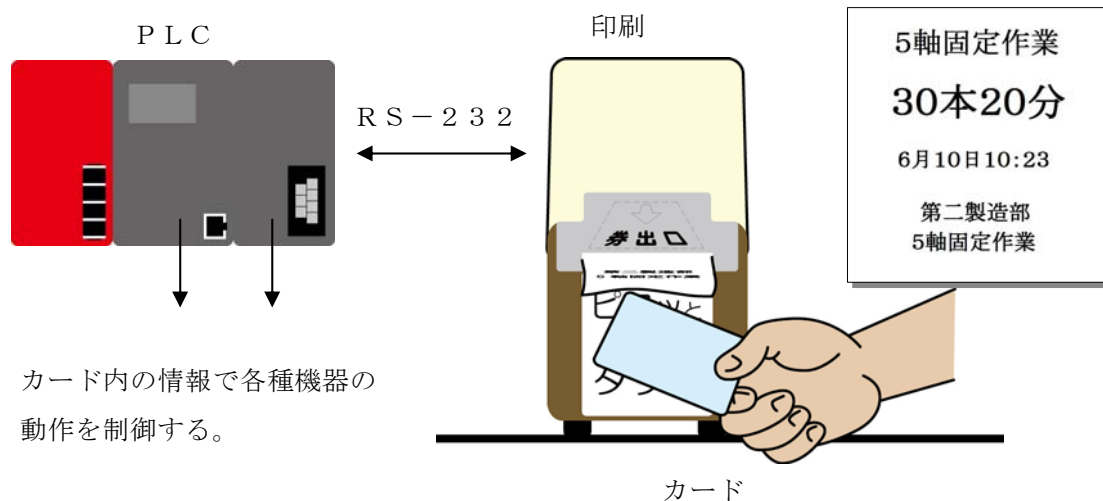
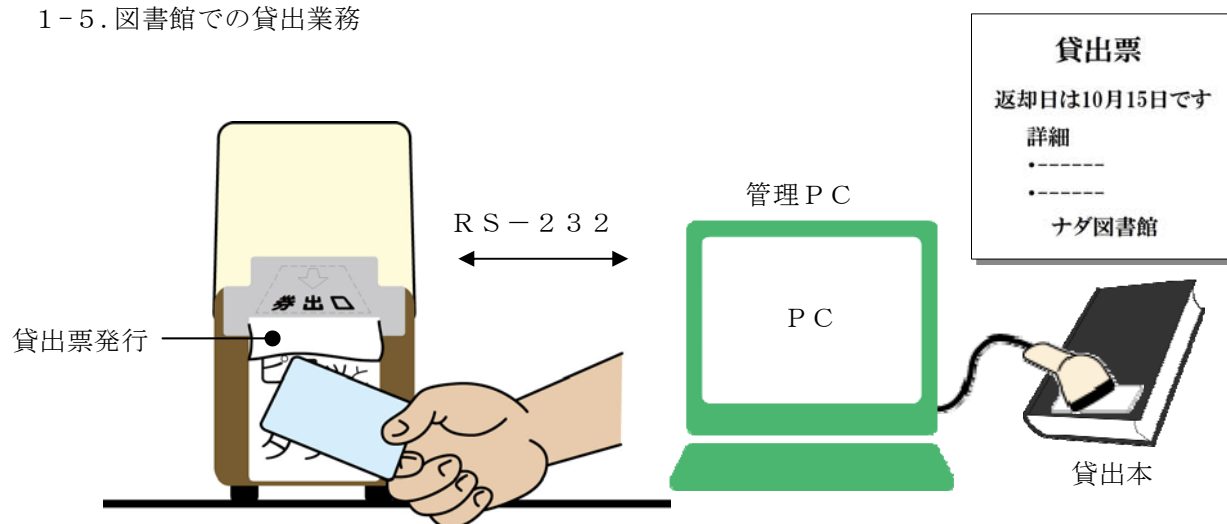
□ 消耗品の購入について

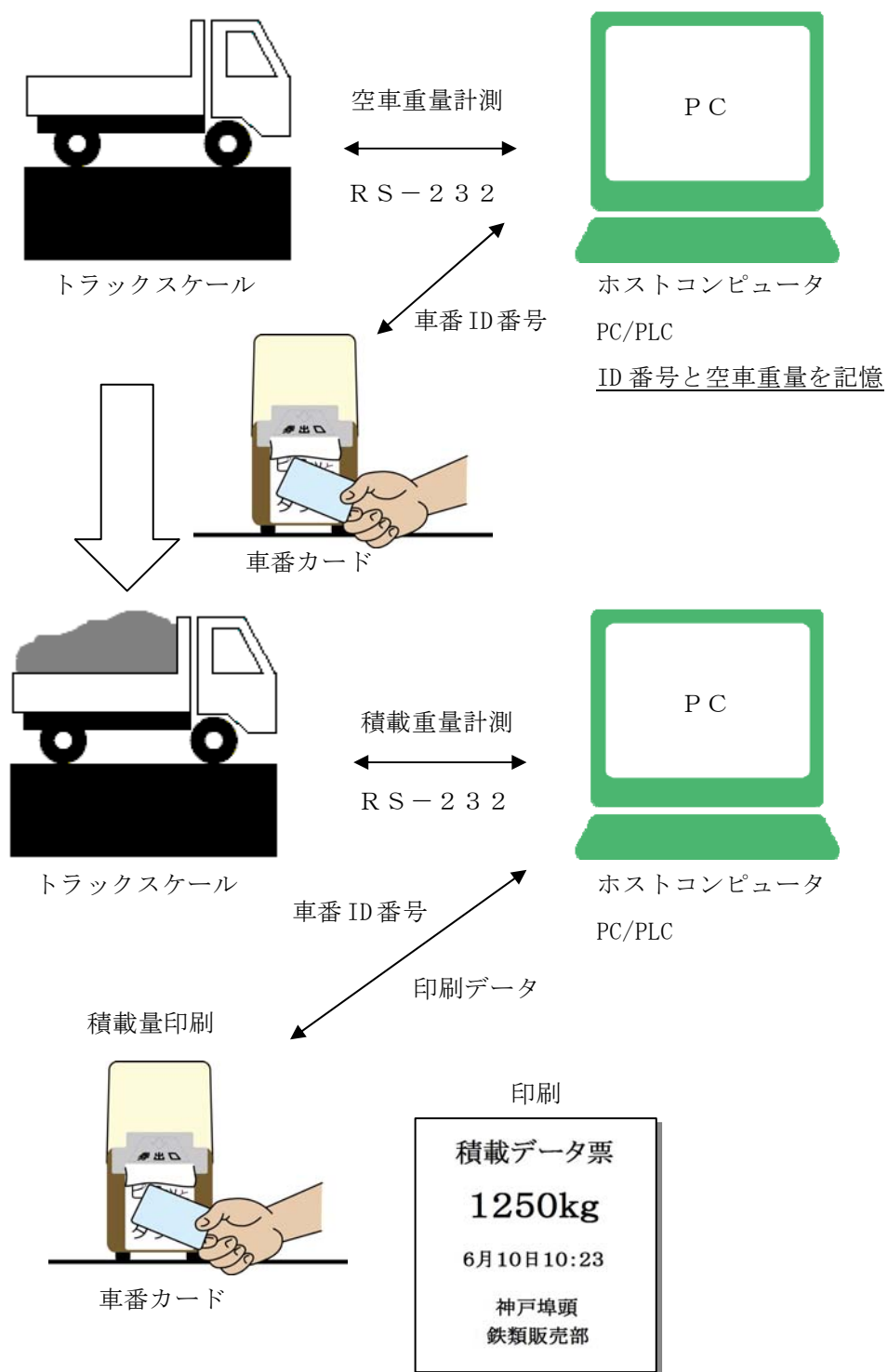
記録紙

型式	紙幅	外径	長さ	紙厚
ＮＰ－６０４	φ５９．５㎜	φ１００㎜	１１８ｍ	６４μｍ

□ 使用例

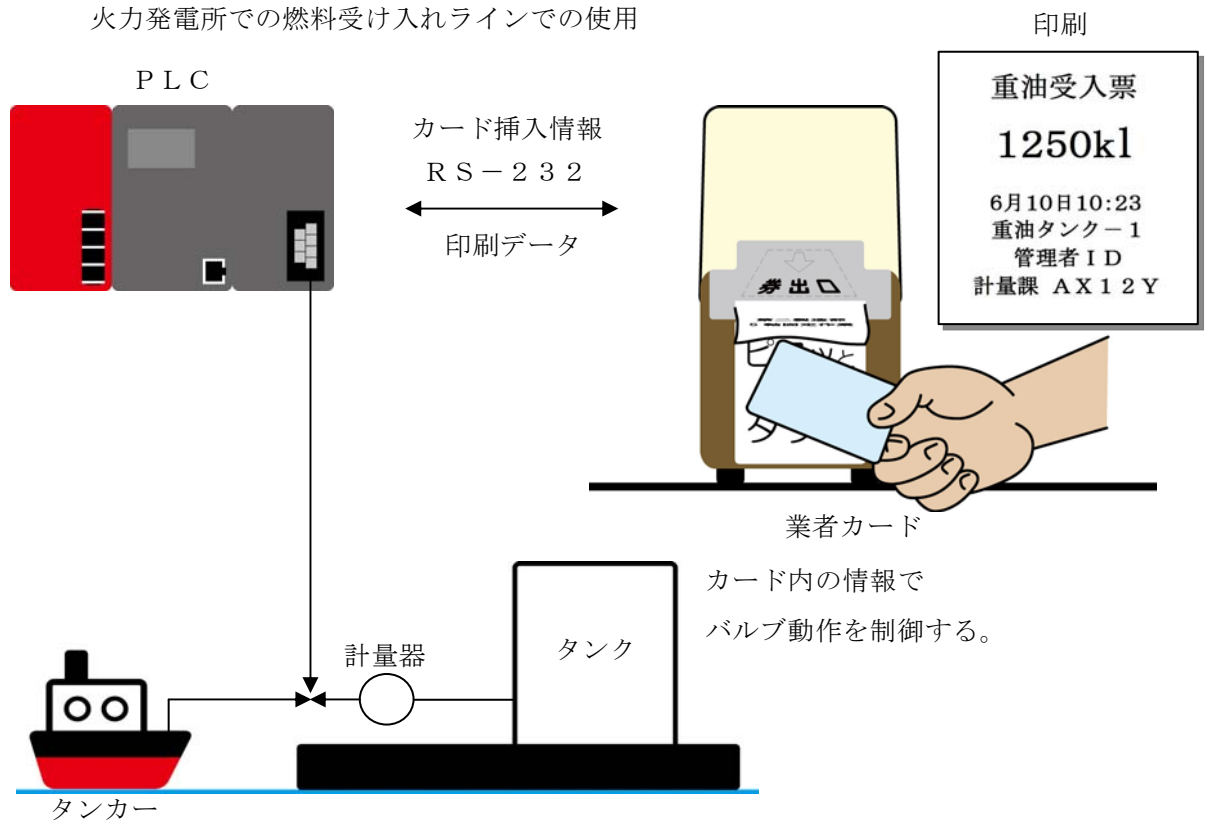
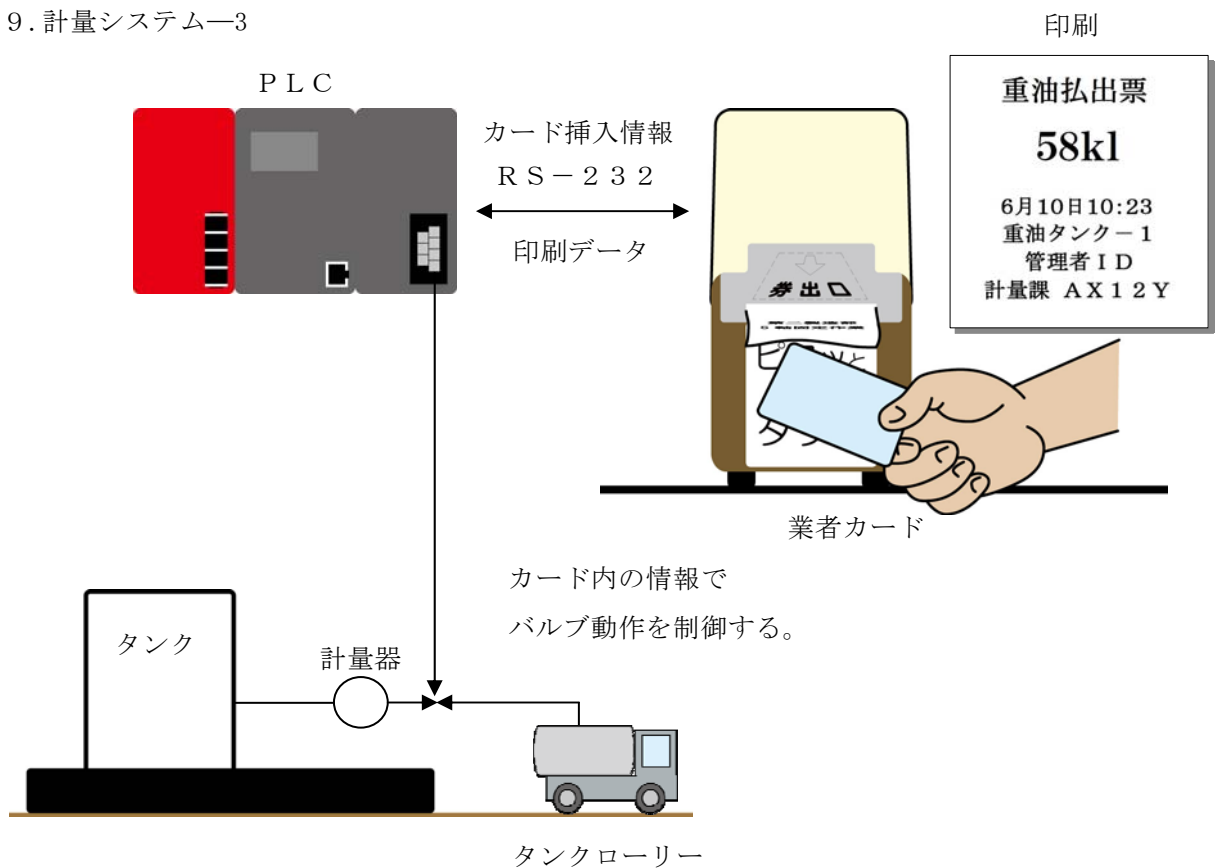
1．ホストを接続した使用方法(データを管理する PC/PLC と接続する)

1－1．個人病院の受付、大規模病院の専門部門(採血、X 線)での受付

1－2.指定場所での入出退管理

1－3.領収書、引き換え券発行

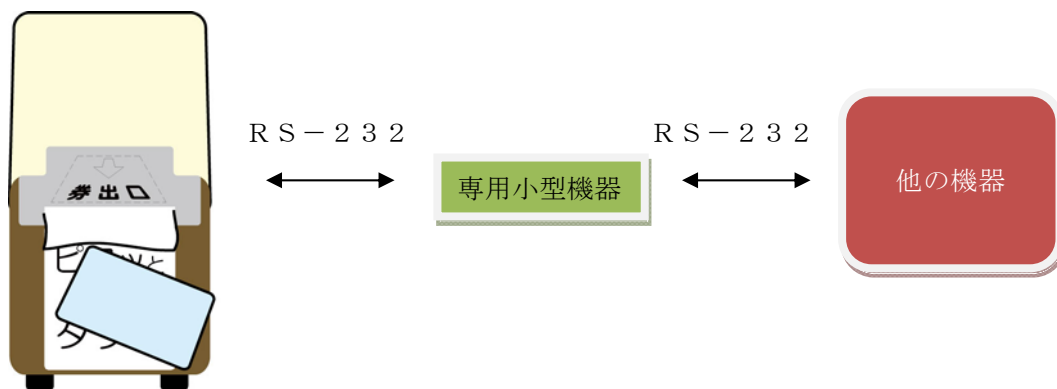
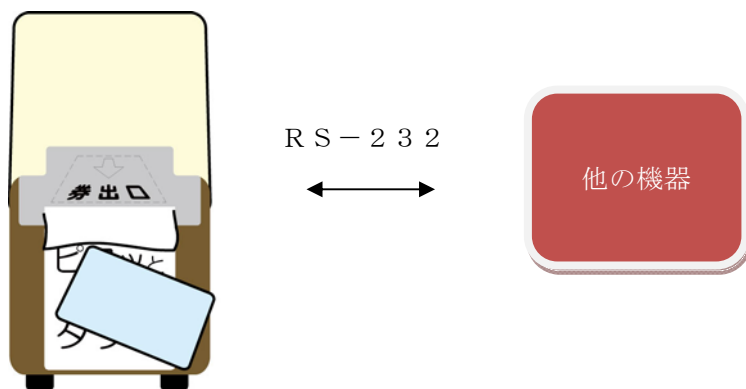
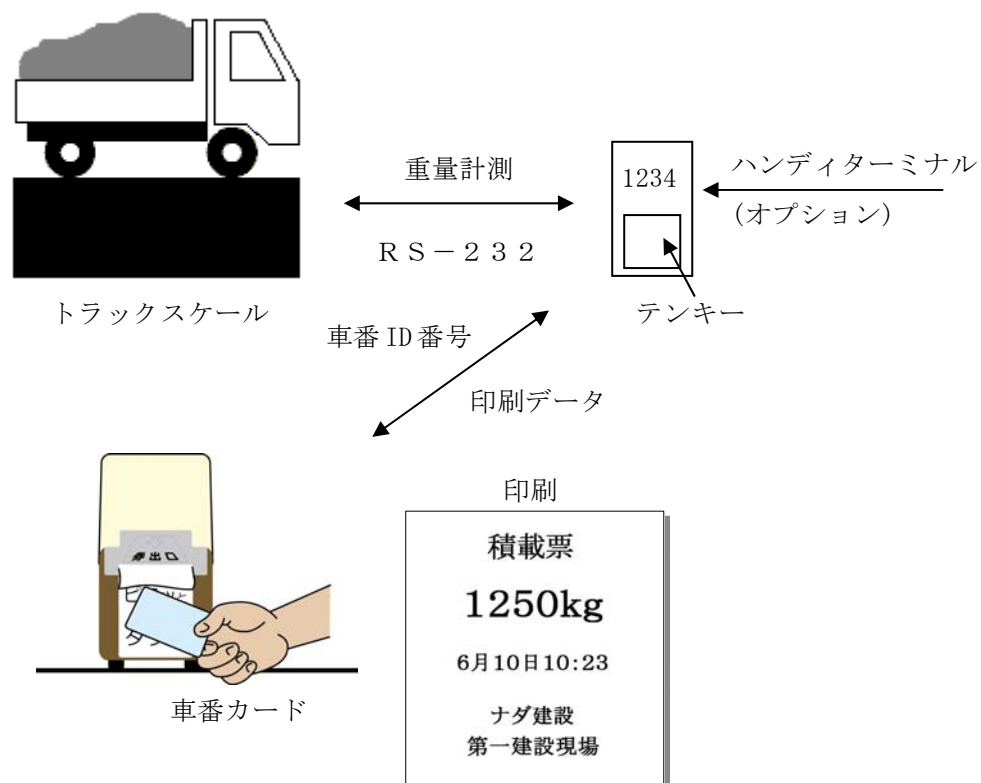
カードに書き込まれたデータを印刷する。

1－4．生産ラインでの使用(カンバン)

1－5.図書館での貸出業務

1－6.会員システム

1－7．計量システム－1

搬出時に ID 番号と記憶データから積載量を計算します。

搬出量の計測ですがこの逆の搬入量の計測にも使用できます。

1－8．計量システム－2

火力発電所での燃料受け入れラインでの使用

1－9．計量システム―3

２．次の様なＰＣ，ＰＬＣを使用しないスタンドアロン型の運用も考えられます。（特別な扱いになります）

専用小型制御機器にて運用する。

リーダー付プリンタのプログラムをスタンドアロン用として専用プログラムを開発。

２－１．簡易計量システム－1

小規模計量システム用で、

リーダー付プリンタ　＋　ハンディターミナル　＋　RS-232機器

の組み合わせで多種の計量システムに安価に対応可能です。

２－２．簡易計量システム－2

いろいろなRS-232機器と接続し

簡易計測システムを安価に構築。